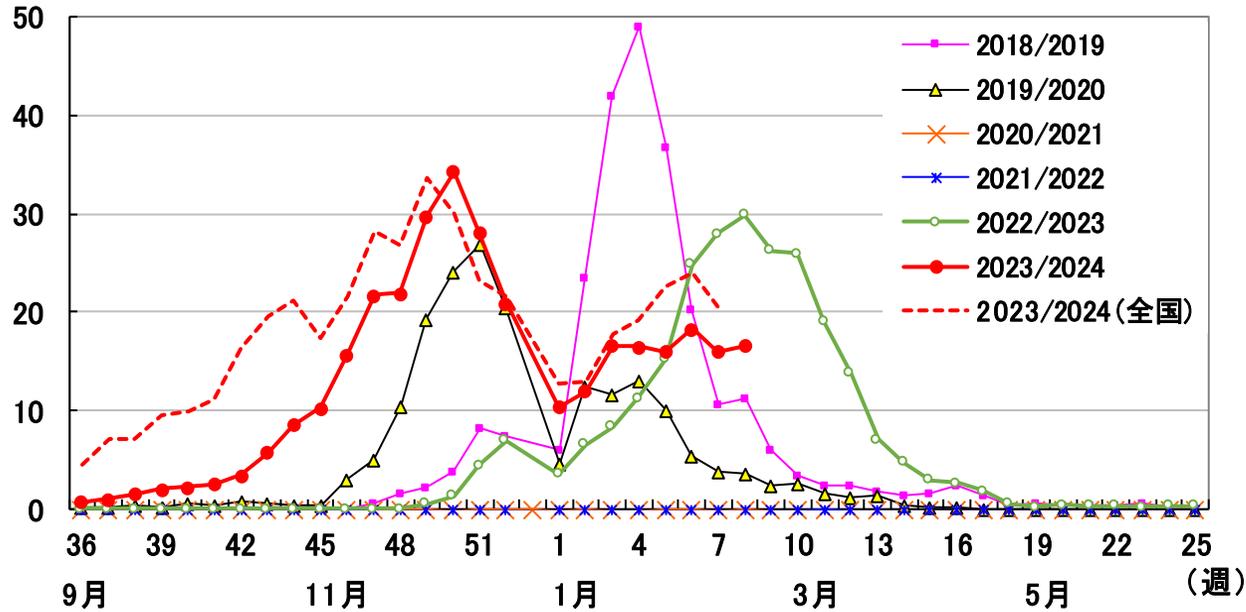


インフルエンザの発生状況(富山県)

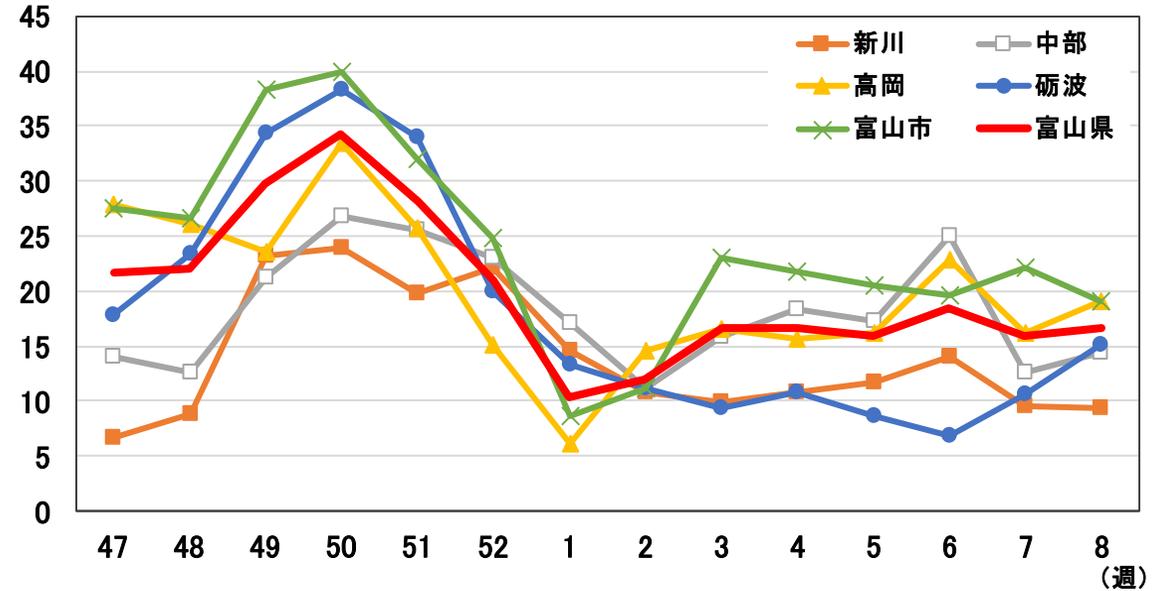
【第8週(2024/2/19~2/25) 感染症発生動向調査速報値 (2024/2/28時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第8週) **16.58**人/定点となり、先週(16.00人/定点)からやや増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、富山市管内で先週からやや減少した一方、中部、高岡、砺波管内では先週からやや増加した。

図3. 年代別割合(富山県、第8週)

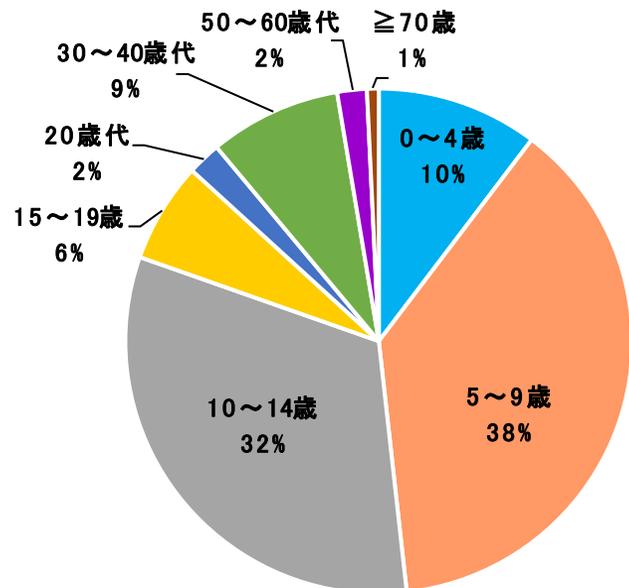
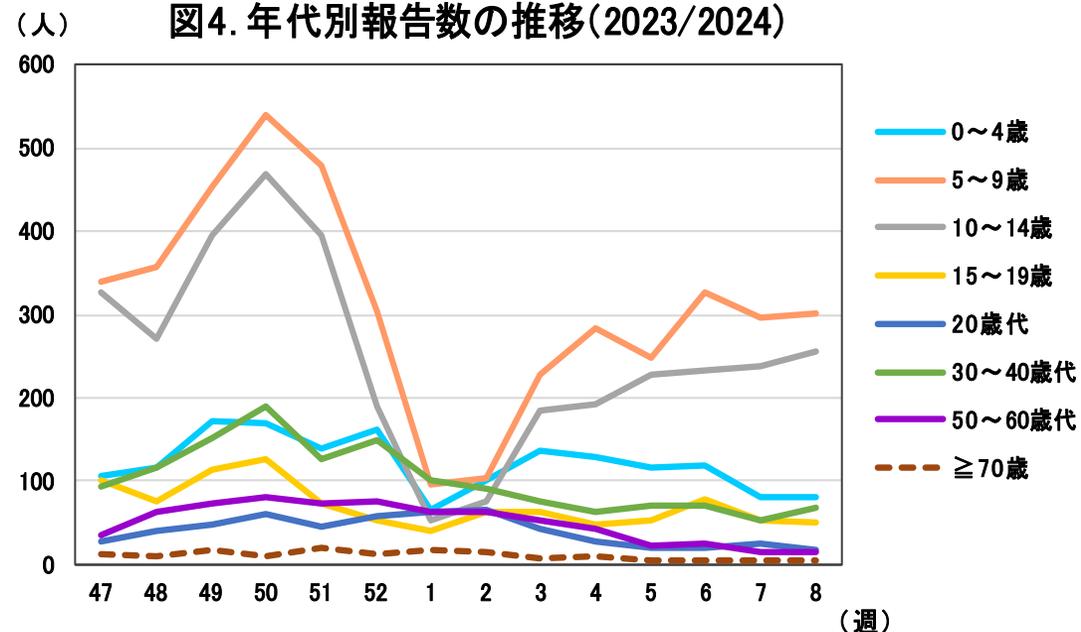


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第8週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が80%を占め、先週（80%）と同程度であった。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代で先週と比べ概ね横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第8週に32件（幼稚園1件、小学校24件、中学校6件、高等学校1件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第7週)

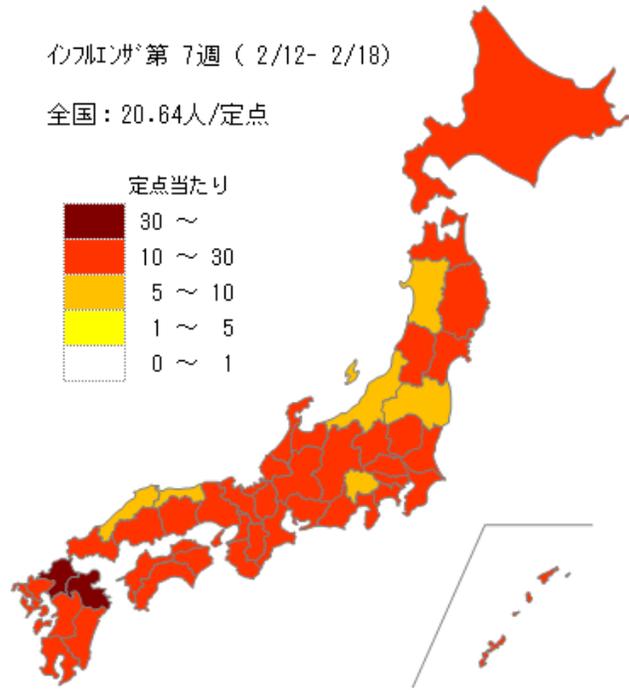
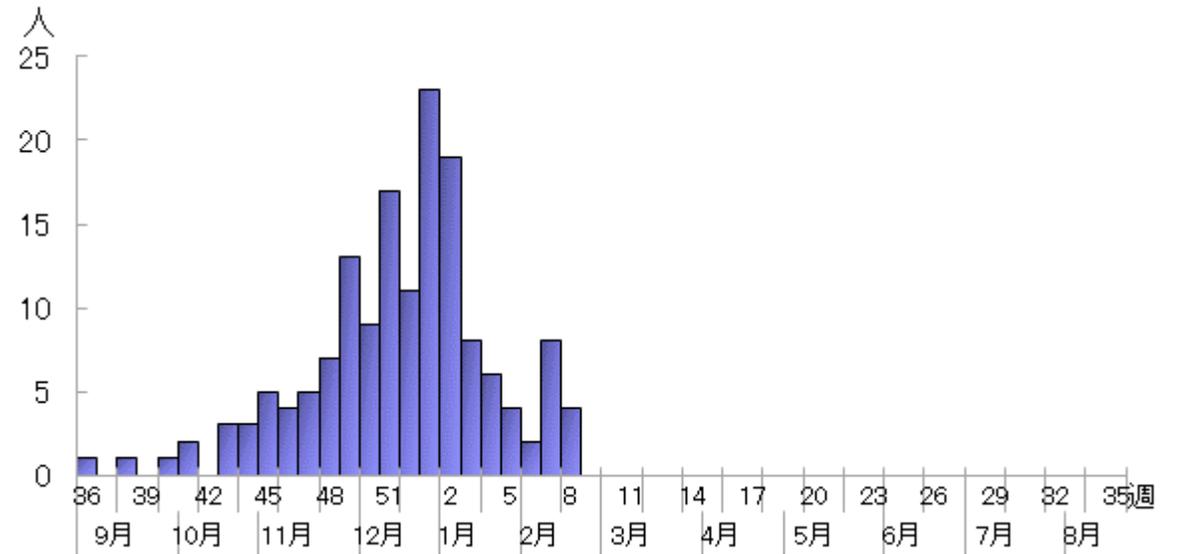


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第8週)



- 全国では第7週に20.64人/定点となり、第6週(23.95)から減少した。都道府県別(図5)では、41都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超え、その内2県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図6)では、第8週に4例の報告(10歳未満:1例、10歳代:1例、40歳代:2例)があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は先週からやや増加した。また、B型の検出割合が今週68.0%となり、先週の58.1%より増加している([富山県感染症発生動向速報2024年第8週](#))。全国の報告数は減少しているものの高いレベルで推移しており、引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。